

令和6年度GIGAスクール運営支援センター事業業務委託  
プロポーザル審査基準表

(別表)

審査項目		No	審査内容	配点	
基本事項		1	業務の受託に関する基本的な考え方	10	10
提案事業 の内容等	事業計画	2	●1人1台タブレット環境下における学校現場の課題理解 (1人1台タブレット環境下において想定される課題と、その対応案について、具体的に提案できていること)	65	10
		3	●サポート依頼受付、及び対応 (サポート依頼を受け付けてから、対応するまでの流れを具体的に提案できていること)		5
		4	●サポート依頼受付、及び対応 (複数のメーカーと調整しながら対応することを、提案できていること(1つの学校において複数の業者が機器の納入、ネットワーク構築を行っている場合があり、障害対応に関してメーカー間で、たらい回しにされる可能性があるため))		5
		5	●蓄積した情報の活用 (サポート依頼受付、及び対応を行う中で蓄積される情報の管理・活用について、具体的に提案できていること)		10
		6	●ICT機器設定支援、教員研修 (学校現場からのサポート依頼件数を減らすことを目的とした取り組みであるが、その意図を理解した提案ができていること)		10
		7	●特別支援学校の支援 (特別支援学校のニーズに即した対応ができるよう、具体的に提案できていること)		10
		8	●その他、独自提案 (事業内容に関する独自の提案があること)		5
		実現可能性	9		提案内容、スケジュール、運営体制等から確実な実施が可能であるか
	事業実施 体制	組織・運営 体制	10		運営スタッフの配置や業務管理の体制が適切であるか
11			類似事業の履行実績などから、各業務の運営を円滑に行うことが見込まれるか	10	
経済性(費用対効果)		12	事業内容等に対して必要な経費が適切に見積もられ、県の予算の範囲内であつ費用対効果の高いものであるか。	10	10
合 計				100	

※ 各審査員のうち、合計が50点以下となった審査員が2名以上いた場合、その申請事業者は失格とする。